

はしがき

本調査研究報告書は、平成 17（2005）年度に実施した「発展途上国の地方分権化と環境政策」研究会（課題番号：IV-27）の成果である。

アジアにおける発展途上国のなかで、地方分権化の進展により、地方政府が中央政府の要求する以上の先進的な環境政策を導入することが可能になったが、一方で地方政府への権限委譲により、開発を指向する地方政府が環境保全を軽視した産業化を推し進めることを中央政府が制御できないという事例も見られるようになっている。地方分権化が、地方における「開発と環境」をめぐる政治過程、地方政府の環境行政、環境政策をめぐる中央・地方関係などに与える影響を分析することは、一国の環境政策全体の進展を展望するためにも重要な意味を持つ。

本研究会では、各国の地方分権化の動きを背景に、地方における「開発と環境」をめぐる政治過程、地方政府の環境政策、環境政策をめぐる中央・地方関係などを分析し、環境政策の執行をより有効に機能させるために必要な望ましい地方環境政策はどのようなものかを検討するための分析枠組みの確立をめざすことを目的としている。

本研究会では、各委員の報告や議論のほか、外部講師を招いてのヒアリングを行った。ご多忙のなか貴重な報告をいただいた、内山卓郎氏（フリージャーナリスト、報告テーマ「1960 年代から 70 年代の日本における経済政策と公害・環境問題」）と佐藤仁氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授、テーマ「タイの環境政策：現状と課題」）の各位に御礼を申し上げる。

また、本研究会と並行して、台湾における研究者との海外共同研究、"Local Environmental Politics and Policy in Taiwan"を実施した。その成果については別途とりまとめられる予定である。

本報告書はあくまで中間的な成果であり、多くの課題が残されている。引き続き、次年度の研究会において、調査研究を行うとともに、議論の深化に努めたい。

2006 年 3 月

編者

目次

第1章 地方における革新的環境政策の普及と一般化 —日本の硫黄酸化物に関する総量規制の事例—	伊藤 康…………… 1
第2章 日本の工場排水対策における下水道の役割 —大阪市の経験をもとに—	藤倉 良…………… 21
第3章 インドネシアの地方分権化と環境管理	小島 道一…………… 49
第4章 中国における地方環境政策の実施過程への視座	大塚 健司…………… 61
第5章 台湾・雲林縣における地方政治と地方環境政策	寺尾 忠能…………… 81

執筆者一覧 (執筆順)

伊藤 康 (千葉商科大学商経学部助教授)

藤倉 良 (法政大学人間環境学部教授)

小島 道一 (アジア経済研究所新領域研究センター環境・資源研究グループ)

大塚 健司 (アジア経済研究所新領域研究センター環境・資源研究グループ)

寺尾 忠能 (アジア経済研究所新領域研究センター環境・資源研究グループ)